

作成 令和元年12月19日

摂津市議会議員 松本暁彦

令和元年第4回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和元年12月17日～
議事録（抜粋）

5 防災と地域の核となる旧三宅スポーツセンターの空間価値の重要性について

○松本議員

5 防災と地域の核となる旧三宅スポーツセンターの空間価値の重要性についてですが、旧三宅スポーツセンターの現状をお聞かせ下さい。

○村上議長

市民生活部長

○松方市民生活部長

次に「防災と地域の核となる旧三宅スポーツセンターの空間価値の重要性」に係わります旧三宅スポーツセンターの現状についてのご質問にお答えいたします。

旧三宅スポーツセンターのグラウンドにつきましては、災害時における防災空地として位置づけております。

平時におきましては、三宅地区連合自治会主催で「三宅ふるさと祭り」、三宅地区市民体育祭である「三宅スポーツジャンボリー」、三宅地区防災訓練等を実施されており、地域の方々によりグラウンドを活用していただいております。

また、少年野球やグラウンドゴルフなどの利用もあり、特に土曜日曜祝日は稼働率が高い状況となっております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

次に旧三宅スポーツセンターの空間価値の重要性についてですが、今は地域活動の拠点となっていることを理解しました。

さて今年、東日本では台風により多くの地域が洪水で浸水しました。川に囲まれた本市も同様の災害が現実になりえることを示し、鳥飼の新幹線基地では水没の危険性について新聞等で取り上げられています。

そのような状況で、水没する危険性が低い数少ない広場の一つが旧三宅スポーツセンターですが、防災の観点でどのようにお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

総務部長

○井口総務部長

旧三宅スポーツセンターのグラウンドは、地震災害時には周辺住民の方の一時的な避難場所となり、子育て総合支援センター遊戯室は水害時には、安威川以南の浸水する地域の方々を受け入れる避難所となることから、地震、水害時において使用できる重要な施設であると認識いたしております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

さらに言えば受け入れるだけでなく、洪水時の広域避難の中継拠点ともなりえる場所と考えます。そこで今後の旧三宅スポーツセンターの用途について、どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

総務部長

○井口総務部長

今後の活用方法につきましては、現時点では具体的な決定がなされていない状況でございます。

これまで議会でお示ししている通り、売却方針は凍結いたしておりますが、防災空地等の必要性や市内でも比較的、海拔の高い位置にあるという地域の特性と合わせまして、今後の人口動態等や持続可能な行政運営などを総合的に勘案した上で、市として最も有益な方策を導き出す必要があるものと考えております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

是非、市として最も有益な方策を検討して頂ければと思います。

旧三宅スポーツセンターは地域コミュニティの核であり、また防災拠点ともなり、本市にとって、その空間価値は非常に高いものであります。是非、その空間を活かし続けるよう要望致します。

(音声データ等より作成)

<その他の質問項目>

- 1 やる気スイッチ等教育施策の実践とリーダーシップについて
- 2 健都における明和池公園の価値向上について
- 3 本市に活力をもたらす中小企業の活性化について
- 4 共感を得るふるさと納税の検討状況について
- 6 防災サポーターの取組みと普及について